

2026年度 特定行為研修 開講式を行いました

2026年4月当院において「2026年度特定行為研修 開講式」を行い、基本領域において2名の看護師が新たに研修を開始しました。開講式には、院長、看護部長をはじめ関係者が出席し、研修に臨む受講者を激励しました。



はじめに院長から「それぞれがこれまでの経験を土台とし、自身の力を十分に発揮しながら研修に取り組んでほしい」との挨拶がありました。続いて看護部長からは、これまで多くの看護師が特定行為研修に挑戦してきたことに触れ、「研修は決して容易な道のりではないが、支える仲間や多くの職種と連携しながら、安全で質の高い医療につなげてほしい」と、今後を見据えた言葉が贈られました。

また、特定看護師には看護の視点と医学的知識の双方を踏まえた対応が求められています。特定行為研修では、こうした患者さんを総合的に捉え、状態を予測しながら安全な医療を提供する力を養っていきます。

開講式の中で行われた受講者の決意表明では、

「研修を通して専門性と判断力を高め、日々の看護実践に活かしていきたい」、
「学びを自分の成長にとどめず、患者さんや組織への貢献につなげていきたい」といった前向きな思いが述べられ、研修に臨む強い意識がうかがえました。

今後、受講者は約1年間にわたり、業務と研修を両立しながら学びを深めていきます。当院としても、研修を支える体制を整え、受講者が安心して研修に取り組めるよう支援してまいります。今後の成長と活躍が期待されます。